

事業計画書目次

[文化観光局]

4款1項3目文化プログラム推進費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和2年度		令和元年度		増△減(2-1)		38 の 政策	新規・ 拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債		
1	横浜トリエンナーレ事業	404,000	404,000	130,000	130,000	274,000	274,000	○	
2	横浜芸術アクション事業	155,000	105,000	391,200	221,200	△236,200	△116,200	○	
3	日中韓都市間文化交流事業	8,000	8,000	11,273	11,273	△3,273	△3,273	○	
4	文化プログラム推進事業	3,200	3,200	5,092	5,092	△1,892	△1,892	○	
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
						0	0		
	計	570,200	520,200	537,565	367,565	32,635	152,635		

（様式②-1） 令和2年度事業計画書（局・統括本部）

[文化観光局 文化プログラム推進課]

事業名
4款 1項 3目
横浜トリエンナーレ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	4

令和元年度 事業評価書 番号	1
令和元年度 事業評価書 番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
令和2年度	404,000	0					404,000
補助事業 単独事業		補助率	%				
令和元年度	130,000						130,000
増△減	274,000	0	0	0	0	0	274,000

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	81,500	452,500	66,000
市債+一般財源	81,500	452,500	66,000
決 事業費	80,977	352,898	65,233
算 市債+一般財源	80,977	352,898	65,233

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	79,000	93,000
算 市債+一般財源	79,000	93,000

方針に関する決裁 種別()
① () ・無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

横浜トリエンナーレは、我が国を代表する現代アートの国際展として、文化芸術創造都市・横浜の発展をリードするとともに、多様性を受け入れる心豊かな社会の形成に寄与することを使命として、3年ごとに開催しています。
また、「アートでひらく」、「世界とつながる」、「まちにひろがる」の3つを目標とし、誰もが多様な表現に触れる機会を提供すること、ナショナルプロジェクトとして横浜から世界に向けた新しい価値観と文化を定期的に発信すること、文化芸術創造都市・横浜ならではの「まちの力」と一体になった取組を進めることを目指しています。
令和2年度は横浜トリエンナーレの第7回展の開催年にあたります。横浜トリエンナーレを主催する「横浜トリエンナーレ組織委員会」に対して協定に基づく負担金を拠出するなどし、「ヨコハマトリエンナーレ2020」を開催します。

【実績及び今後見込み】

	横浜トリエンナーレ 2001	横浜トリエンナーレ 2005	横浜トリエンナーレ 2008	ヨコハマトリエンナーレ 2011	ヨコハマトリエンナーレ 2014	ヨコハマトリエンナーレ 2017	ヨコハマトリエンナーレ 2020
主会場	パシフィコ横浜 展示ホール 横浜赤レンガ倉庫1号館	山下ふ頭3・4 号上屋	新港ピア、日本 郵船海岸通倉庫、 横浜赤レンガ倉庫1号館、 三溪園	横浜美術館 日本郵船海岸通 倉庫	横浜美術館 新港ピア	横浜美術館、横 浜赤レンガ倉庫 1号館、横浜市 開港記念会館地 下	横浜美術館、み なとみらい21 中央地区48街区
総来場者数	約35万人	約19万人	約55万人	約33万人	約21万人	約26万人	前回展並
チケット販売枚数	約17万枚	約12万枚	約9万枚	約17万枚	約10万枚	約10万枚	10万枚以上
パブリシティ効果	—	—	—	46億6800万円	52億300万円	50億4000万円	50億円以上

【事業費の内訳】

	2年度	元年度	差引	説明
組織委員会負担金	403,000	129,000	274,000	開催年に係る経費の増による組織委員会事業費の増
事務費	1,000	1,000	0	視察に係る旅費等
合計	404,000	130,000	274,000	

【事業スケジュール】

令和2年4月～ ヨコハマトリエンナーレ2020開催準備
令和2年7月2日 ヨコハマトリエンナーレ2020内覧会・オープニング
令和2年7月3日～10月11日 ヨコハマトリエンナーレ2020開催
アーティストック・ディレクター：ラクス・メディア・コレクティブ
主会場：横浜美術館、みなとみらい21中央地区48街区
主催：横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会
令和2年10月～ ヨコハマトリエンナーレ2020検証・第8回展に向けた検討・協議

【事業開始年度】

平成11年度

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	梶原 敦	赤崎 由香	赤崎 由香

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[文化観光局 文化プログラム推進課]

事業名		
4款	1項	3目
横浜芸術アクション事業		

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号
5	4

令和元年度 事業評価書 番号	2
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
令和2年度	155,000	50,000				105,000	
補助事業	100,000	50,000				50,000	
単独事業	55,000	補助率 50%					
令和元年度	391,200	160,000		10,000		221,200	
増△減	△ 236,200	△ 110,000	0	△ 10,000	0	△ 116,200	

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	353,000	60,000	454,320
算 市債+一般財源	244,000	60,000	284,320
決 事業費	323,433	54,594	404,126
算 市債+一般財源	188,961	54,594	219,126

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	454,320	391,200
算 市債+一般財源	284,320	221,200

方針に関する決裁 種別(有)(平成23年10月)・無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

都市のプレゼンスを高めていくことを目的に、文化芸術創造都市・横浜ならではの文化プログラムを国内外に発信します。次期ダンスフェスティバルの準備を進めるとともに、継続事業として次世代育成事業を実施します。

1 ダンス部門

「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」で高まった機運を継続させるため、市民参加・次世代育成を主要な柱としたダンス事業を実施します。また、次期ダンスフェスティバルの開催に向け、準備を進めます。

2 音楽部門

「横浜音祭り2019」で高まった機運を継続させるため、「横浜音祭り2013」を契機に始まった、神奈川フィルハーモニー管弦楽団が行う事業(ヨコハマ・ポップス・オーケストラ)に対する補助などの次世代育成事業を行います。

3 2020年賑わい創出

これまで開催してきたダンス・音楽フェスティバルの開催経験やノウハウを活用し、横浜ならではの文化プログラムの集大成として、ダンス・音楽のステージ等を実施します。文化プログラムの実施を通じて、東京2020オリンピック・パラリンピックやヨコハマトリエンナーレ2020等を機に横浜を訪れる訪日外国人など、市内外からの来街者におもてなしすることにより、街に一層の賑わいを創出するとともに、横浜の魅力を発信し、横浜のプレゼンスを高めます。

【実績及び今後見込み】

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度
	予算	決算	予算	決算	予算	予算案
	フェスティバル準備年度		DanceDanceDance @ YOKOHAMA2018		横浜音祭り2019	2020年賑わい創出
実行委員会への負担金						
市費(ダンス)	37,500	33,577	210,220	161,919 ※	5,500	133,375
市費(音楽)	-	-	17,600	14,772	129,200 ※	0
国費(文化庁補助金)	-	-	160,000	180,000 ※	160,000 ※	0
その他雑入	-	-	10,000	5,000 ※	10,000 ※	0
直接執行						
ポップス・オーケストラ/MMC J	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000 ※	6,000
18区連携事業	-	-	9,000	6,268 ※	9,000 ※	0
みなとみらいホール事業負担金	15,000	15,000	40,000	30,000	70,000 ※	15,000
事務費	1,500	17	1,500	167 ※	1,500	625
合計	60,000	54,594	454,320	404,126	391,200	155,000
当年度フェスティバル事業費(※部分)	-	-	390,720	353,354	384,200	-

【事業費の内訳】

R2		事業費	市事務費	合計
本市予算額(A)		154,375	625	155,000
A=B+C+D+E				
うち	実行委員会への負担金(B)	133,375		133,375
	ポップス・オーケストラ(C)	6,000		6,000
	MMH負担金(D)	15,000		15,000
	事務費(E)		625	625
実行委員会予算額		133,375	0	133,375
総事業費		154,375	625	155,000

【事業スケジュール】

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ダンス事業	次世代育成事業等の実施、本番年に向けた準備	フェスティバル実施年	次世代育成事業等の実施、本番年に向けた準備	・次世代育成事業等の実施、本番年に向けた準備 ・音楽・ダンス等の文化プログラムの実施
音楽事業	次世代育成事業等の実施	次世代育成事業等の実施、本番年に向けた準備	フェスティバル実施年	

【事業開始年度】

平成23年度

【根拠法令】

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	土田 俊樹	高野 友佑	高野 友佑

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[文化観光局 文化プログラム推進課]

事業名
4款 1項 3目
日中韓都市間文化交流事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号
5	4

令和元年度事業評価書番号	3
令和元年度事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
令和2年度	8,000	0					8,000
補助事業 単独事業		補助率	%				
令和元年度	11,273	0					11,273
増△減	△ 3,273	0	0	0	0	0	△ 3,273

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	12,034	13,263	13,263
算 市債+一般財源	7,734	13,263	13,263
決 事業費	6,943	12,026	7,962
算 市債+一般財源	6,943	12,026	7,962

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	8,000	8,000
算 市債+一般財源	8,000	8,000

方針に関する決裁 種別()
有 () 無 ()

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

「東アジア文化都市 友好協力都市協定」に基づき、アーティストや芸術団等の相互派遣を通じて、中国泉州市と韓国光州広域市との交流を行い、日中韓3か国の相互理解と連帯感形成の促進を図るとともに、横浜の魅力を発信することで横浜のプレゼンス向上を図ります。

また、平成29年8月26日に京都市で「東アジア文化都市サミット」が開催され、「京都宣言」が採択されました。「東アジア文化都市サミット」では、継続的な交流を支えるネットワークを構築する重要性について認識を共有したほか、「京都宣言」において、文化を通じた幅広い交流の促進と連携の強化に取り組むなどの方針が示されたことから、引き続き国による東アジア文化都市の取組状況を踏まえ都市間文化交流を進めます。

東アジア文化都市各国の開催都市

	日本	中国	韓国
2014 (平成26) 年	横浜市	泉州市	光州広域市
2015 (平成27) 年	新潟市	青島市	清州市
2016 (平成28) 年	奈良市	寧波市	済州特別自治道
2017 (平成29) 年	京都市	長沙市	大邱広域市
2018 (平成30) 年	金沢市	ハルビン市	釜山広域市
2019 (令和元) 年	豊島区	西安市	仁川広域市
2020 (令和2) 年	北九州市	揚州市	順천시

【実績及び今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込	令和2年度見込
招へい者数 (人)	40	30	43	43	30	30
派遣者数 (人)	40	20	32	12	30	30
交流事業数 (件)	9	10	9	7	9	9

【事業費の内訳】

	令和2年度	令和元年度	差引	説明
7節 報償費	860	1,470	△ 610	実施内容の見直しによる減
8節 旅費	760	1,362	△ 602	実施内容の見直しによる減
10節 需用費	1,007	1,178	△ 171	
11節 役務費	280	375	△ 95	実施内容の見直しによる減
12節 委託料	5,080	6,875	△ 1,795	実施内容の見直しによる減
13節 使用料及び賃借料	13	13	0	
合計	8,000	11,273	△ 3,273	

【事業スケジュール】

4月 2020年東アジア文化都市 中韓東アジア文化都市開幕式典への出席
 上半期 泉州市、光州広域市芸術団体の招へい (予定)
 上半期 光州広域市「アジア文化殿堂 フリンジフェスティバル」への出演団体の派遣 (予定)
 下半期 泉州市開催イベントへの出演団体の派遣 (予定)
 通年 中韓東アジア文化都市との文化交流
 歴代東アジア文化都市とのネットワーク構築への対応

【事業開始年度】

平成27年度

【根拠法令】

東アジア文化都市 友好協力都市協定 (平成26年11月18日締結)

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大益 利之	今西 めぐみ	高木 由紀

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

〔文化観光局 文化プログラム推進課〕

事業名	
4款 1項 3目	文化プログラム推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号
5	4

令和元年度 事業評価書 番号	4
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
令和2年度	3,200	0					3,200
補助事業 単独事業		補助率	%				
令和元年度	5,092						5,092
増△減	△ 1,892	0	0	0	0	0	△ 1,892

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度
予	事業費	7,600	6,460	6,991
算	市債+一般財源	7,600	6,460	6,991
決	事業費	4,353	4,359	4,008
算	市債+一般財源	4,353	4,359	4,008

歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	3,200	3,200
算	市債+一般財源	3,200	3,200

方針に関する決裁種別()
有 () 無 ()

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

横浜ならではの文化プログラムの推進に向けて、文化プログラム推進課の円滑な事務運営を図ります。諸事務費として、事務機器の維持管理、消耗品購入、自動車借上などの費用を計上します。

【実績及び今後見込み】

令和元年度は横浜ならではの文化プログラムとして、「横浜音祭り2019」を開催しました。令和2年度は「ヨコハマトリエンナーレ2020」を開催します。以降も横浜ならではの文化プログラムを盛り上げ、横浜の魅力の発信につなげるため、これらの事業に伴う諸事務の効率的な運営を図ります。

【事業費の内訳】

項目	本年度	前年度	差引	説明
事務費	3,200	5,092	△ 1,892	実施内容見直し及び新市庁舎移転による減
計	3,200	5,092	△ 1,892	

【事業スケジュール】

通年 文化プログラムの推進に係る事務運営

【事業開始年度】

平成28年度

【根拠法令】

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大益 利之	今西 めぐみ	高木 由紀